

産直住宅のことなら

自然派人間 大集合



フェアトレードショップ「accha」
店主・阿字地千佳子さん

「この頃よく耳にする「フェアトレード」という言葉、ご存じですか？

アジアやアフリカ、中南米など、貧困な環境で生産する人達と公正な取引をするこ

とで、彼らの暮らしの継続・向上を支援します。つまり、お買い物

が国際協力につながるというしくみです。そんなフェアトレードショップ

が増えており、先日、天神橋商店街近くの「accha」(アチャヒヒンドゥー語でありがと

う)」というお店を訪ねました。

店主の阿字地さんは「商工会関連の団体に40年勤め、モノづくりに誇りを持ち、自分の役割に喜びを感じてお

られる中小零細企業の方と多く出会い、感動をもらいました。そんな経験と、定年退職後も生きがいのある暮らしがしたいという思いがフェアトレードショップにつながったんです。退職した翌日に物

件探しを始めたんですよ(笑)。夫や子どもは途上国にカンパした

らええやんと反対しましたが、それではフェアトレードの意味がない。今の日本もそう

で、解雇されて一時金をもらったところで自立は難しいでしょ。自立できる経済の仕組み

を応援するものでなければ」と言います。

はマーケットの要望に合った指導(NGO団体)から、癒される

acchaで扱っている商品は、自然農法のコーヒーや紅茶、伝統技法のチョココレト、カレー、手作りの衣料品、アクセサリー、雑貨などさまざま。生産地で採れる素材を現地の伝統技術(染め、織り)を用い、デザインやクオリティ

体や有名デザイナーなど)が行われていきます。このような取り組みによってフェアトレード商品の水準は格段の進歩を遂げました。

「寄付代わりに買うのではなく、商品の魅力で買っていただけだよ」になりましたね。

手づくり感があふれて



ヨコは味と風味がよく、バレンタインデー前に売り切れてしまうほどの人気といいます。

「20〜30代の若い女性のお客さんが多いですね。経済格差や貧困など、人の痛みに思いやれるのでしょうか。モノに限らず、この店が人の素敵な出会いの場になっていく

たらしたいですね」

※accha 大阪市北区天神橋3-2-20、06-6357-7739。10時〜19時(月曜休日)

http://faccha.blog38.fc2.com/

知られてきた質と魅力

進歩する商品